

CASBEE[®]新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム 新潟北愛	
建設地	北区 前新田字前新田甲74番、外9筆	
用途地域	市街化区域	
建物用途	病院	
竣工年	2014年2月 予定	
敷地面積	4,246.00 m ²	
建築面積	2,236.70 m ²	
延床面積	5,532.98 m ²	
階数	地上3F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年7月18日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{53}{35} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.8		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

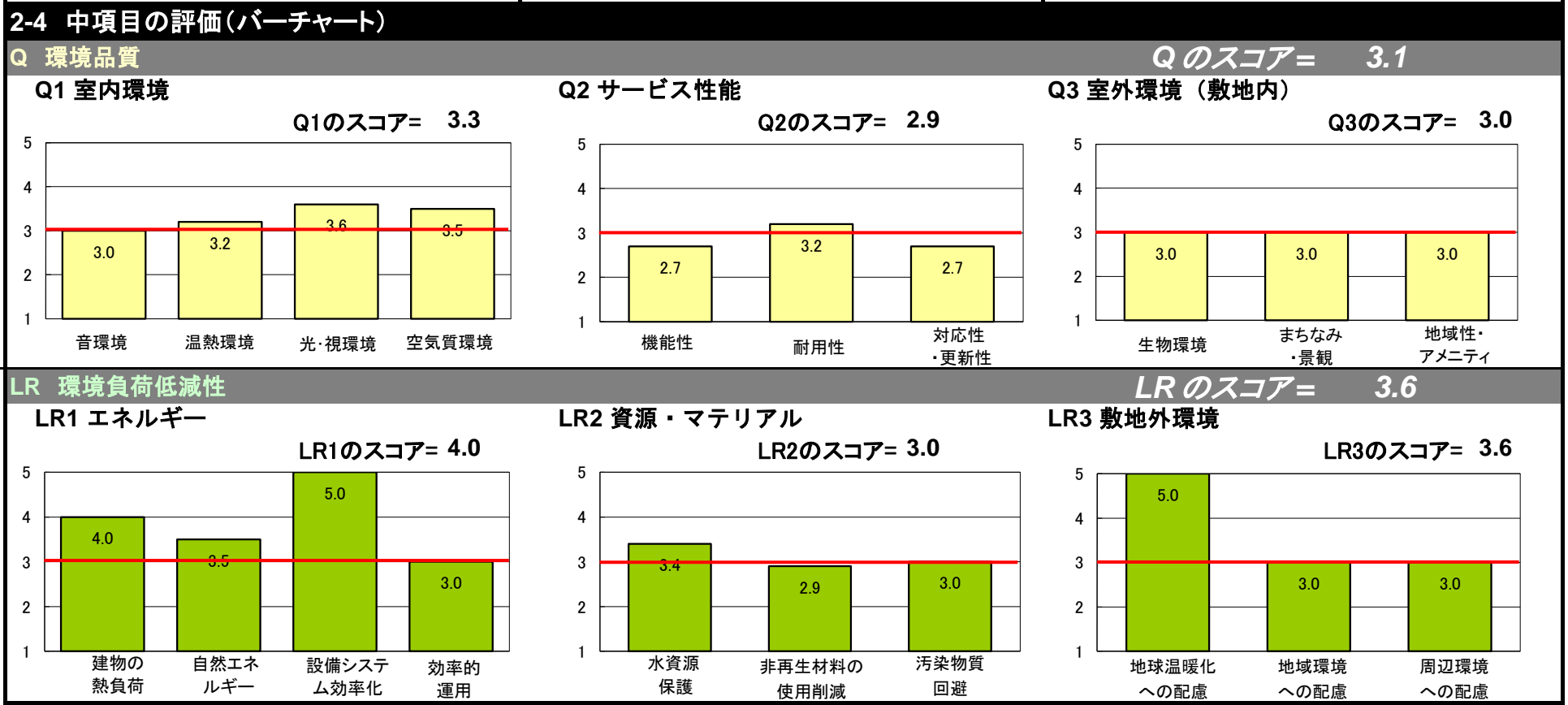
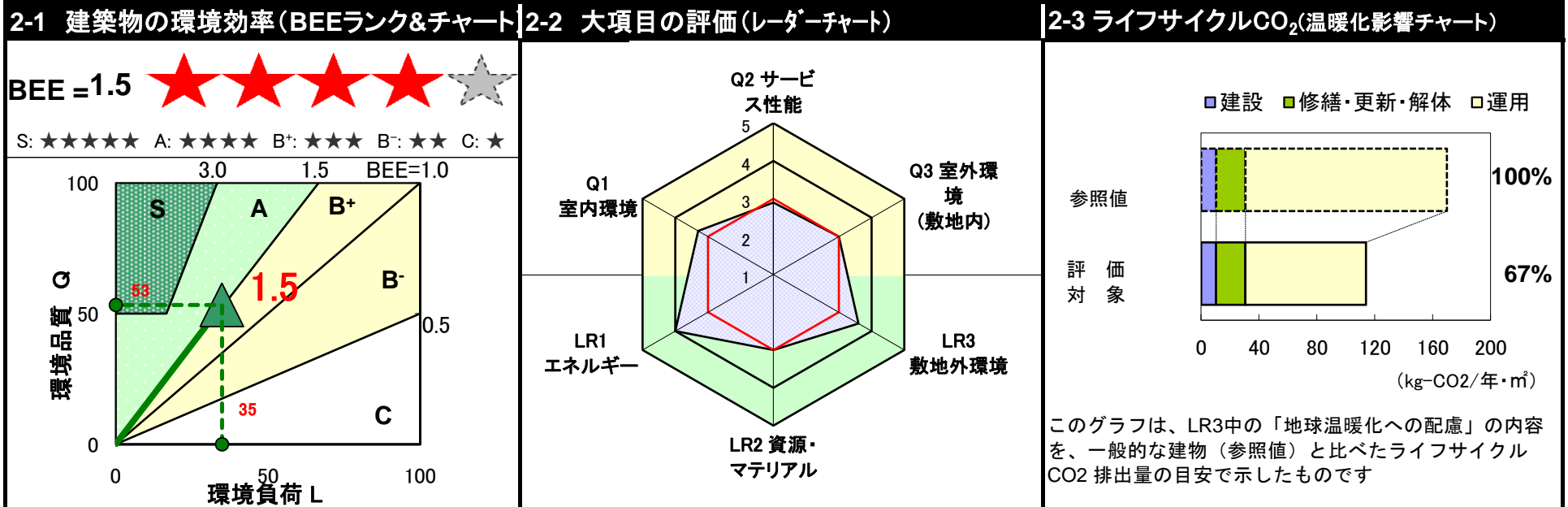
- ・非常用発電設備を設置している。
- ・電源設備・精密設備・機械の地下空間への設置はない。
- ・通信手段の多様化を図っている。
- ・太陽光発電設備を屋上に設置している。
- ・節水コマに加え、自動水栓を用いている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他	
・新潟市の重点項目において、極端な片寄りなどが無いよう各分野バランス良く配慮し、自然エネルギーの変換利用やライフサイクルCO ₂ 排出率を75%以下に抑えるなど、地球温暖化防止に資する取組みを積極的に行っている。		
Q1 室内環境 ・空冷ヒートポンプパッケージ方式を設置し、細かな空調ゾーニングが可能である。 ・昼光率は、介護職員室2⇒3.74%・居室-227⇒5.92%である。	Q2 サービス性能 ・個室10㎡/床以上である。・積載荷重は、2900N/㎡以上である。 ・内装仕上げ材の更新必要間隔は、床（ビニル床シート）20年、内壁（ビニルクロス・EP塗り）20年、天井	Q3 室外環境（敷地内） ・夏期における卓越風向に対する、建物の後退距離が十分に確保されており、風下となる地域への温熱環境の影響の低減を図っている。
LR1 エネルギー ・太陽光発電設備を屋上に設置している。 ・高効率設備を使用している。	LR2 資源・マテリアル ・節水コマに加え、自動水栓を用いている。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 67%である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される